

## 2015 ASEAN-JAPAN 国際省エネシンポジウムをミャンマーにて開催

電力消費が著しい伸びを見せる ASEAN 諸国において、民生部門の省エネルギー対策の一環として、家電機器分野のエネルギー効率基準及びラベリング制度（S&L 制度）の重要性が認識されています。

このような背景の下、制度整備が遅れているミャンマーにおいて、2015年12月18日、ヤンゴンの Summit Parkview Hotel にて“2015 ASEAN-JAPAN Energy Efficiency and Conservation Symposium on Standard and Labeling Policy in Myanmar”（主催: ECCJ、ASEAN Center for Energy (ACE)、後援: METI Japan、開催: Ministry of Industry (MOI) Myanmar）が開催されました。

このシンポジウムの目的は、ミャンマーの今後の制度整備推進にとって必須となるステークホルダーに参集いただき、制度整備に向けた機運の向上、関係者間のネットワーク形成、そして高効率エアコンの普及促進であり、当センターが実施する“ASEAN-Japan Energy Efficiency Market Transformation with information Provision Schemes (AJ-EMTIPS)”の一環として行われました。

ミャンマーMOI 副大臣 H.E. U Myoe Aung、ACE マネージャー、Dr. Joni Jupesta、当センター祖川二郎常務理事、MOI、ACE、ECCJ の各関係者及びマレーシア、タイから招聘講師が参加し、情報や課題の共有、前向きな意見交換を通してミャンマーの制度構築に向けた着実な進展が確認できました。

